

SDGs の現場から

「ペットを通じてお客様を幸せにし、人々とペットの暮らしを豊かにする」。フィッシュランドイシハラ（甲府市）は創立以来独自の高い技術とサービスにより、健康で高品質なペットと関連事業を通じて多くのお客様に癒やし・信頼・感動を提供できるように取り組んでいます。

1892年（明治25年）創業の同社は、甲信越最大級の1500坪の敷地に熱帯魚などを扱うアクア館のほか、犬と猫などを扱うペットワールド、さらにはペットへの優しさを追求する最先端技術のジェントルケ

ペットと人の暮らし豊かに

生き物通じ自然を実感



ランドマーク税理士法人代表

清田 幸弘氏

横浜農協に9年間勤務。資産税専門の会計事務所勤務の後、1997年、清田幸弘税理士事務所設立。その後、ランドマーク税理士法人に組織変更し、現在14の本支店で精力的に活動中。TKC全国会員。

ア・トリミングを行うサロンも併設しています。

同社は「日本で一番安心できるペットショップ」を目指しており、トリミングに関する情報は、国連が定めるSDGsの目標8「働きがいも 経済成長も」、目標12「つくる責任 つかう責任」、目標14「海の豊かさを守ろう」などの達成に向けて取り組んでいます。

具体的には、国連が定めるSDGsの目標8「働きがいも 経済成長も」、目標12「つくる責任 つかう責任」、目標14「海の豊かさを守ろう」などの達成に向けて取り組んでいます。

「う」にもつながります。また、同社はこの社会福祉事業を通じて、環境にかかわらず誰もが働きがいのある人間らしい機会の提供にも貢献しています。

これらの目標達成に関わるリユース事業、社会福祉事業はもとも手がけていた事業ですが、社長の知り合いのついで宣言を行う運びとなり、具体的な指標を定め、30年の目標達成を見込んでいます。

リユース事業では、30年までに事業部の売り上げを現在の10倍に拡大しようとしています。そのため、リユース商品だけを使ったアクアリウム展示イベントの定期開催を行っています。

同イベントで魚や動物とのふれあいを体感してもらうことで海の豊かさを消費者に意識づけ、SDGsの目標14「海の豊かさを守る」と話しています。